

令和8年度 社会福祉法人博愛会 事業計画

法人方針		1 「笑顔」づくり	➡ 利用者とその家族、地域、そして職員の「笑顔」をつくります					
		2 「誇り」づくり	➡ サービスの質を追求し、「誇れる職場」「和める職場」をつくります					
		3 より良い共生社会の実現	➡ 立場を越え、共に生きる地域社会を支える法人をつくります					

高 齢 福 祉 部	スローガン	「その人らしさ」を大切にしたケアが、誇りとやりがいになる職場へ						
	運営方針	1 介護技術と業務手順の整備による安全・安心な運営			運営指標	職員満足度70%以上(アンケート項目:仕事の充実感)		
		2 意見を受け止め、対話を大切にする職場づくり				職員離職率5.0%以下		
		3 その人らしい暮らしとつながりの充実				入居稼働率99%以上 短期稼働率85%以上		

事業名	目標	計画実現のための施策	担当者 担当部署	行動指標	実 績			
					第1四半期 (4月～6月)	第2四半期 (7月～9月)	第3四半期 (10月～12月)	第4四半期 (1月～3月)
特別養護 老人ホーム	1 介護技術と業務手順の整備による安心・安全な運営	(1) 生産性の向上についての検討	生産性向上チーム	生産性向上会議の定期開催 (1回/月)				
		(2) 資格取得の推進	人材育成チーム	喀痰吸引の資格取得 (1名以上/年)				
				喀痰吸引指導者の資格取得 (1名以上/年)				
			生活支援チーム	終末期ケア専門士の資格取得 (2名以上/年)				
		(3) 介護技術・知識の向上	人材育成チーム	基礎介護研修 各介護課1名 (3回/年)				
			人材育成チーム	認知症基礎・実践研修 各介護課1名 (1回/年)				
	2 意見を受け止め、対話を大切にする職場づくり							
		(1) 疑問を解消できる場の提供	人材育成チーム	介護職員の疑問に専門職が答えられる場の開催(4回/ 年)				
		(2) 意見を出しやすい環境の構築	生産性向上チーム	職員アンケート実施と結果のフィードバック (2回/年)				
	3 その人らしい暮らしとつながりの充実							
		(1) その人らしさと楽しみの提供	生活支援チーム	イベント実施 (10回/年)				
			生活支援チーム	外出行事 (2回/年)				
			生活支援チーム	買い物支援 (8回以上/年)				
		(2) 家族との繋がりと関係づくり	全職員	家族交流会 初開催				
			課長	ユニット活動をまとめたご家族向け広報誌発送(4回/年)				
		(3) 「動ける」「感じられる」喜びの提供	専門職員	小集団での機能訓練 (4回以上/月)				
		(4) 待機者確保と円滑な入居案内	生活相談員	居宅・病院への訪問(10件以上/月)※常時3名維持				
短期入所 生活介護	1 介護技術と業務手順の整備による安心・安全な運営	(1) 生産性の向上についての検討	生産性向上チーム	生産性向上会議の定期開催 (1回/月)				
		(2) 資格取得の推進	人材育成チーム	喀痰吸引の資格取得 (1名以上/年)				
				喀痰吸引指導者の資格取得 (1名以上/年)				
			生活支援チーム	終末期ケア専門士の資格取得 (2名以上/年)				
		(3) 介護技術・知識の向上	人材育成チーム	基礎介護研修 各介護課1名 (3回/年)				
			人材育成チーム	認知症基礎・実践研修 各介護課1名 (1回/年)				
	2 意見を受け止め、対話を大切にする職場づくり							
		(1) 疑問を解消できる場の提供	人材育成チーム	介護職員の疑問に専門職が答えられる場の開催(4回/ 年)				
		(2) 意見が出しやすい環境の構築	生産性向上チーム	職員アンケート実施と結果のフィードバック (2回/年)				
	3 その人らしい暮らしとつながりの充実							
		(1) その人らしさと楽しみの提供	短期入所	個別プログラム導入期(4～9月)提供率70%以上				
			短期入所	個別プログラム定着期(10～3月)提供率90%以上				
			短期入所	ショートステイ単独イベント(6回以上/年)				
		(2) 活動内容の周知	担当課長	ショートステイ単独の広報誌作成(年4回/年)				
			生活相談員	居宅へ訪問(10件以上/月)				

令和8年度 社会福祉法人博愛会 事業計画

法人方針		1 「笑顔」づくり	➡ 利用者とその家族、地域、そして職員の「笑顔」をつくります					
		2 「誇り」づくり	➡ サービスの質を追求し「誇れる職場」、「和める職場」をつくります					
		3 より良い共生社会の実現	➡ 立場を越え、共に生きる地域社会を支える法人をつくります					
地域福祉部	スローガン	住み慣れた地域で、「その人らしさ」を支え続ける						
	運営方針	1 「その人らしさ」を追求する支援	運営指標		利用者満足度80%以上			
		2 「その人らしさ」を提供するためのチーム作り			職員満足度アンケートを実施し、下期は上期のアンケート結果よりを10ポイントアップ			
		3 より質の高い「暮らし」に繋げるための連携を強化する						
事業名	目標	計画実現のための施策	担当者 担当部署	行動指標	実 績			
					第1四半期 (4月～6月)	第2四半期 (7月～9月)	第3四半期 (10月～12月)	第4四半期 (1月～3月)
通所介護課	(1)「その人らしさ」を追求する支援	①通所介護計画書に基づくサービスが適切に提供	全職員	①活動内容の見直し・更新(10名/月)				
		されているか検証する。		①満足度調査アンケート実施 (第1・第3四半期:準備)(第2・第4四半期:実施・評価)				
			相談員	②専門職会議でアセスメントを実施(各職種1回以上/月)				
				②相談員会議の実施(1回/月)				
				②適切なサービス量の確保(月初から5回の増回)				
	(2)「その人らしさ」を提供するためのチーム作り	①介護技術及び知識の向上	機能訓練指導員	①機能訓練指導員による研修・勉強会の実施(月1回以上)				
			介護職員	認知症勉強会(1回/四半期)				
				身体介助研修(1回/四半期)				
	(3)より質の高い「暮らし」に繋げるための連携を強化する	①介護支援専門員へ正確な情報を伝え、より良い	担当者 相談員	①各担当居宅・包括への報告書を提出し情報共有を行う				
		サービス体制を構築する		(1回以上/月)				
居宅支援課		②地域との連携を深めるため、デイサービス活動の	相談員 機能訓練指導員	②地域開催の集会へ参加する(1回以上/四半期)				
		周知に努める						
	(1)「その人らしさ」を追求する支援	①サービス事業所との密な連携を図り、	介護支援専門員	アンケート実施による利用者満足度80%以上				
		適切な支援に繋げる						
		②その人らしさが維持できているか検証。	介護支援専門員	第1四半期・第3四半期にアンケート実施(2回/年)				
				アンケートに対する改善会議開催(2回/年)				
	(2)「その人らしさ」を提供するためのチーム作り	①ケアマネジメントのスキルアップ	課長・管理者	全員が外部のケアマネ対象研修に上期、下期に1回以上参加				
				計10回以上参加(5人×年2回)				
		②事例を基に、介護支援専門員のフォローアップ	介護支援専門員	事業所内でのケアプランの他者点検実施(20人/年)				
	(3)より質の高い「暮らし」に繋げるための連携を強化する	①地域との連携強化	課長・管理者	箕紋屋地域の居宅との意見交換、事例検討、研修を実施				
			(4回/年)					
	②効率的な会議運営のためのICTツールの導入に	介護支援専門員	時間外勤務時間の削減(50%削減)					
	よる記録時間削減							

令和8年度 社会福祉法人博愛会 事業計画

法人方針		1 「笑顔」づくり	➡ 利用者とその家族、地域、そして職員の「笑顔」をつくります					
		2 「誇り」づくり	➡ サービスの質を追求し「誇れる職場」、「和める職場」をつくります					
		3 より良い共生社会の実現	➡ 立場を越え、共に生きる地域社会を支える法人をつくります					
地域福祉部	スローガン	住み慣れた地域で、「その人らしさ」を支え続ける						
	運営方針	1 「その人らしさ」を追求する支援			運営指標	利用者満足度80%以上		
		2 「その人らしさ」を提供するためのチーム作り				職員満足度アンケートを実施し、下期は上期のアンケート結果よりを10ポイントアップ		
		3 より質の高い「暮らし」に繋げるための連携を強化する						
地域包括課	(1)「その人らしさ」を追求する支援	①自立支援の実現	全職員	自立支援型地域ケア会議開催・参加 2回/年				
		②専門知識・技能の向上	介護保険担当 地区担当	外部研修参加・伝達 各自6回/年				
	(2)「その人らしさ」を提供するためのチーム作り	①情報共有の徹底・チームワーク強化	全職員	包括内会議実施 1回/月				
		②多職種連携の視点強化・包括的支援力の向上	介護保険担当 地区担当	県・市が主催する包括職員対象研修参加・伝達 各自2回/年				
		③職員が直接支援に集中できるよう、チーム内の	事務員	書類・記録管理完了率 100%				
		円滑な運営サポート	事務員	請求書類作成・提出期限遵守率 100%				
	(3)より質の高い「暮らし」に繋げるための連携を強化する	①地域との連携を強化することで、早期相談に	地区担当	民生委員・在宅福祉員の定例会参加 8回/年				
		つなげる	地区担当	自治会長会参加 4回/年				
		②地域課題の発見・解決に向けて取り組む	地区担当 事務員	地域ケア推進会議開催 2回/年				
		③介護支援専門員の質の向上を図り、切れ目の	地区担当 事務員	居宅連絡会開催 2回/年				
グループホーム みのりの里	(1)「その人らしさ」を追求する支援	①入居者の暮らしを支えるための家族との関係づくり	全職員	家族交流会の開催(第3四半期開催)				
		②入居者へ楽しみの提供	全職員	季節の行事の開催 年10回以上				
				(うち家族や子供たちとの交流 年2回)				
			全職員	公民館・地域イベントへの参加 年3回以上				
	(2)「その人らしさ」を提供するためのチーム作り	①その人らしさを支えるための介護技術・知識向上	管理者・責任者	認知症に関する勉強会の実施 年4回				
			管理者・責任者	看取りケアに関する勉強会の実施 年2回				
			対象者	認知症実践者研修・リーダー研修 各1名				
			対象者	外部研修(看取りケア)への参加 各ユニット 年1名				
	(3)より質の高い「暮らし」に繋げるための連携を強化する	①地域・他事業所との接点を増やす	管理者・責任者	包括と協働した地域住民向けの講座参加 年1回				
			管理者・責任者	法人内外の事業所と勉強会の開催 年1回				
		②待機者を常時2名の確保	管理者	外部事業所への営業 月5件 訪問とFAX送信				

令和8年度 社会福祉法人博愛会 事業計画

法人方針		1 「笑顔」づくり	➡ 利用者とその家族、地域、そして職員の「笑顔」をつくれます					
		2 「誇り」づくり	➡ サービスの質を追求し「誇れる職場」、「和める職場」をつくれます					
		3 より良い共生社会の実現	➡ 立場を越え、共に生きる地域社会を支える法人をつくれます					

障がい福祉部	スローガン	利用者と職員の目標をかなえつづける居場所						
	運営方針	1 利用者の目標を実現する支援の実施						
		2 利用者の目標を実現する支援力の成熟						
		3 利用者の社会参加や地域活動の充実						

事業名	目標	計画実現のための施策	担当者 担当部署	行動指標	実 績			
					第1四半期 (4月～6月)	第2四半期 (7月～9月)	第3四半期 (10月～12月)	第4四半期 (1月～3月)
放デイ ときぞう	1 利用者の目標を実現する支援の実施	(1)統一した支援の提供	全職員	日報に本人の出来た瞬間や、成功体験を記載し共有				
				(1回以上/日)				
		(2)スモールステップで明確な目標設定	個別支援計画 担当者	目標に対する適切な評価を記録(1回/日)				
			全職員					
	2 利用者の目標の実現のため支援力の成熟	(1)職員の個人目標のの達成のサポート	課長・主任	個人目標に対する職員面談(1回以上/月)				
		(2)ヒヤリハットの記載習慣化	個別支援計画 担当者	ケース会議の実施(2回以上/月)				
			全職員	ヒヤリハットに対しての対策会議(1回以上/週)				
	3 利用者の社会参加や地域活動の充実	(1)他事業所との交流	全職員	他事業所との交流を実施(1回以上/3か月)				
		(2)法人内他部署との交流	全職員	法人内他部署との交流を実施(3回以上/月)				

就労支援 ときぞう	1 利用者の目標を実現する支援の実施	(1)スモールステップで明確な目標設定	担当職員	支援会議の実施(1回/月)				
		(2)安定して通所ができる環境整備	担当職員	利用者面談の実施(1回/月)				
	2 利用者の目標の実現のため支援力の成熟	(1)職員の個々のスキルに合わせた支援力の向上	担当職員	外部研修に参加、伝達研修の実施((1回/3ヵ月)				
		(2)職員の個人目標のの達成のサポート	課長・主任	個人目標に対する職員面談(1回以上/月)				
	3 利用者の社会参加や地域活動の充実	(1)地域の方が集える環境整備	主任、職員	サテライトときぞうで、自社製品などの販売(20日/月)				
		(2)地域活動への参加	主任、職員	定期的な訪問販売、イベントへの出店(4回以上/月)				

令和8年度 社会福祉法人博愛会 事業計画

法人方針		1 「笑顔」づくり	➡ 利用者とその家族、地域、そして職員の「笑顔」をつくります					
		2 「誇り」づくり	➡ サービスの質を追求し「誇れる職場」、「和める職場」をつくります					
		3 より良い共生社会の実現	➡ 立場を越え、共に生きる地域社会を支える法人をつくります					

障がい福祉部	スローガン	利用者と職員の目標をかなえつづける居場所						
	運営方針	1 利用者の目標を実現する支援の実施						
		2 利用者の目標を実現する支援力の成熟						
		3 利用者の社会参加や地域活動の充実						

生活介護 ときぞう	1 利用者の目標を実現する支援の実施	(1)安心して日中過ごせる居場所づくり	個別支援担当者	支援会議の実施(1回/週)				
		(2)生きがい、役割を感じられる活動の提供	行事担当	活動会議の実施(1回/月)				
	2 利用者の目標の実現のため支援力の成熟	(1)専門的な知識の習得	各職員	外部研修または施設見学、伝達研修の実施(1回/月)				
		(2)チーム全体で支え合い、強固な体制づくり	主任	個人目標に対する職員面談(1回以上/月)				
	3 利用者の社会参加や地域活動の充実	(1)新しい体験を経験	行事担当	地域ボランティアを招いての体験(1回/月)				
				買い物支援の実施(1回以上/月)				
		(2)法人内事業所との交流		他事業所との交流を行う(1回以上/月)				

グループホーム ときぞう	1 利用者の目標を実現する支援の実施	(1)季節の行事の楽しみと交流の場を提供	生活支援員 世話人	行事を開催(2回以上/月)				
		(2)日常生活の訓練の提供	生活支援員 世話人	生活支援の提供(2回以上/週)				
	2 利用者の目標の実現のため支援力の成熟	(1)職員の専門的な知識の習得	生活支援員	外部研修または施設見学、伝達研修の実施(1回/月)				
		(2)職員の個人目標のの達成のサポート	課長・責任者	個人目標に対する職員面談(1回以上/月)				
	3 利用者の社会参加や地域活動の充実	(1)地域の店舗での買い物を通した社会参加の促進	生活支援員 世話人	外出支援の実施(1回以上/週)				
		(2)地域清掃活動(草取り等)への参加による地域	生活支援員 世話人	地域の清掃活動の実施(1回以上/3ヵ月)				
		貢献の推進						
		(3)公民館祭等の地域行事への作品出展等の交流	生活支援員 世話人	利用者とは出展までの企画・準備・作成を実施(1回/年)				

令和8年度 社会福祉法人博愛会 事業計画

法人方針		1 「笑顔」づくり	➡ 利用者とその家族、地域、そして職員の「笑顔」をつくります						
		2 「誇り」づくり	➡ サービスの質を追求し「誇れる職場」、「和める職場」をつくります						
		3 より良い共生社会の実現	➡ 立場を越え、共に生きる地域社会を支える法人をつくります						

障がい福祉部	スローガン	利用者と職員の目標をかなえつづける居場所							
	運営方針	1 利用者の目標を実現する支援の実施							
		2 利用者の目標を実現する支援力の成熟							
		3 利用者の社会参加や地域活動の充実							

りんく	1 利用者の目標を実現する支援の実施	(1)利用者の自己実現を支える計画作成	相談員	利用計画の見直し会議の実施(月1回・1人あたり月2件)				
	2 利用者の目標の実現のため支援力の成熟	(1)ICTの活用による支援の効率化	相談員	時間外労働時間の短縮(1人あたり月毎の平均3時間以内)				
			相談員	業務の棚卸しと業務改善会議を実施(1回/3ヵ月)				
		(2)専門性の高い人材の育成・対応力の強化	相談員	外部研修参加の実施(1人あたり3回以上/年)				
	3 利用者の社会参加や地域活動の充実	(1)地域に根ざした相談支援体制の強化	相談員	地域住民への周知活動、相談支援の役割や活動の実施				
				(1回/3ヵ月)				
		(2)地域資源とのつながり強化	相談員・協同体	協同体MTGの定期開催(毎週実施)				

令和8年度 社会福祉法人博愛会 事業計画

法人方針	1 「笑顔」づくり	➡ 利用者とその家族、地域、そして職員の「笑顔」をつくります
	2 「誇り」づくり	➡ サービスの質を追求し、「誇れる職場」「和める職場」をつくります
	3 より良い共生社会の実現	➡ 立場を越え、共に生きる地域社会を支える法人をつくります

法人本部 ・総務課 ・総合企画室	スローガン	法人の本部機能として、介護・支援現場の支えとなり、未来を見据えた新たな基盤を創出						
	運営方針	1 ワークライフバランスの充実と業務効率化	運営指標	有給休暇取得率100%(年5日) 時間外勤務前年比80%以下				
		2 安心・信頼・和やかさのある職場環境づくりを支える、あるべき本部機能の実践		総務課アンケート(職員対象)満足度70%以上				
		3 法令遵守と法人運営の適正化		返還金・遡及支払いゼロ、予算執行率100%				

事業名	目標	計画実現のための施策	担当者 担当部署	行動指標	実 績			
					第1四半期 (4月～6月)	第2四半期 (7月～9月)	第3四半期 (10月～12月)	第4四半期 (1月～3月)
総務課	1 ワークライフバランスの充実と業務効率化	(1)管理者による労務管理体制の確立し、課内完結できるように支援	労務担当	労務管理体制構築 (全部署)				
		(2)職員毎の有休取得状況を定期的に共有	労務担当	有休取得を管理者へ通知 (1回/3ヶ月)				
	2 安心・信頼・和やかさのある職場環境づくりを支える、あるべき本部機能の実践	(3)時間外実績前年比80%以下	労務担当	時間外実績の配信 (1回/月)				
		(1)接遇スキルの醸成	主任	接遇研修の実施 (1回/月)				
	3 法令遵守と法人運営の適正化							
		(1)日々の費用稟議の精査	経理担当	予算執行率の確認 (1回/月)				
		(2)適正な請求・給与計算	請求担当 給料担当	請求・支給ミスゼロ				
総合企画室	1 ワークライフバランスの充実と業務効率化	(1)満足度調査アンケート結果を基に、法人課題の解決のため、新しい福利厚生や取組み等の提案		新たな福利厚生等の提案 (1案/4半期)				
	2 安心・信頼・和やかさのある職場環境づくりを支える、あるべき本部機能の実践	(1)新規採用者(1年以内)の離職を無くすため、手厚いフォローと、担当課長と密に情報共有		入職者意見交換会の実施 (2回/年)				
	3 法令遵守と法人運営の適正化	(1)法人イベントを企画、実行委員を選任し、円滑な開催のためのバックアップと工程管理		計画的に法人イベントを実施 (年4回)				